

天才アート KYOTO®



天才アートとは、障
 碍のある人やひきこも
 り者などの多くがもっ
 て

いる優れた感性と表
 現力、そこから湧き出
 る独創的なアート作
 品に対して、NPO 法
 人 障害者芸術推進
 研究機構（天才アート
 KYOTO）が独自にネー
 ミングしたものです。
 当機構は天才アートを
 推進し、その啓発・
 普及活動を積極的行
 っています。



発行日 2023年3月10日（金）

発行者 特定非営利活動法人
 障害者芸術推進研究機構

天才アート KYOTO

発行所 〒603-8226
 京都市北区紫野西舟岡町2番地
 ふれあい共生館「きたアトリエ」
 info@tensai-art.kyoto
 http://tensai-art.kyoto

編集協力 株式会社 三六六

天才アート

検索



長村 駿『アカショウビン』 1991 年生 画用紙・ペン・水彩絵の具 271×381mm 2018 年制作

展 覧 会

予 告

2023年度の展覧会などの予定
(2023年2月末現在)

2023年度に実施する展示事業のうち、現在決定しているのは以下の2つの展示会です。今後新たな事業が追加されると思われますので、決定次第お知らせします。

第11回『天才アート展2023』(入場無料)

〈会 期〉2023年秋を予定

〈会 場〉きたアトリエ／京都市北区紫野西

舟岡町2 ふれあい共生館



昨年度開催の第10回天才アート展2022「オープン・スタジオ」の展示風景

第7回『公共空間にアートの彩り!』展

*B1判サイズ作品ポスターパネル50点を展示予定

〈会 期〉2023年12月上旬頃〜2024年1月下旬頃を予定

〈会 場〉四条通地下道(麩屋町通下)柳馬場通下間約100m

*前記以外の展示事業は未定です。



現在開催中の第6回天才アートがやってきた!!『公共空間にアートの彩り!』展

展 覧 会

報 告

天才アートがやってきた!!
第6回『公共空間にアートの彩り!』展
開催中

公共地下道や連絡通路などに天才アートKYOTOの「作品アーカイブ」データを活用した作品ポスターパネルを飾り、無機質になりがちな空間に華やきを醸し出す『公共空間にアートの彩り!』展。第1回目が、2018年の1月に京都駅を南北に横断する地下通路への展示で、今回は第6回目となります。

今回の会場は四条通地下通路で、毎回、30万人〜50万人の市民や観光客などに愉しんでいただき、「初めて見るような作品ばかりで驚いた」「ユニークな表現が面白い」などの反響とともに、絵の購入や寄付の申込につながるなどたいへん好評です。

皆さま、今回もお近くをお通りの際は、ぜひお立ち寄りください。

〈会 場〉四条通地下通路の中央の柱列

(麩屋町付近地下)柳馬場通地下

付近の約100m

〈期 間〉2023年1月30日(月)正午

〜4月2日(日)

〈内 容〉B1判サイズ作品ポスターパネル50点

〈協 力〉京都市歩くまち京都推進室

阪急電鉄株式会社

〈助 成〉公益財団法人京都オムロン地域

協力基金



第6回天才アートがやってきた!!『公共空間にアートの彩り!』展。2023年4月2日まで開催中

『青空美術館12号・13号』は継続展示中!!
『14号・15号』は展示スタート!!

青空美術館は、22年度以前に実施のものも含め、23年度も継続展示しています。近くにお立ち寄りの際はぜひご覧ください。

12号 右京区西京極豆田町 東大丸児童公園内

13号 伏見区桃山福島大夫北町52

京都市立呉竹総合支援学校

14号・15号 本号3ページの記事参照

青空美術館14号・15号 連続開設・展示中!!

当機構の「作品アーカイブ」データを活用して大型の「耐候性パネル」を制作し、工事現場の仮囲いやフェンスに展示する『青空美術館』。

工事現場の仮囲いは、現場で働く職人さんや周囲の人々の安全を守り、外部との隔離、盗難・災害の防止などの役割がありますが、ややもすれば近隣地域にとって「迷惑」と捉えられてしまったり、殺風景になってしまったりしがちです。そんな工事現場の仮囲いに『青空美術館』の作品パネルを展示することで、街なかに「ギャラリー」が出現したような印象を与え、周辺が華やかになり、雰囲気をも和ませます。

この『青空美術館』は2014年7月、地下鉄くいな橋駅前の公共下水道幹線工事現場への展示を第1号に、10年間で通算15号を数えるまでになりました。回を重ねるごとに評判を呼び、毎回楽しみにされているファンの方も増えていきます。

この度、新たに2023年1月から第14号、2月から第15号を開展示し展示しています。近くにお立ち寄りの際はぜひお楽しみください。

なお、従来『青空美術館』は公共建設工事の仮囲いに展示してきましたが、第14号は初めて民間施設工事への設置となります。今後は、公共施設・民間施設にこだわらず、設置の機会を増やしていきたいと考えています。



JR二条駅北の御池通に面した青空美術館14号の展示風景

●第14号

- 〈場 所〉 京都生活協同組合二条駅前店建設工事現場仮囲い
京都市中京区西ノ京星池町（御池通JR二条駅北）230番地
- 〈期 間〉 2023年1月10日～同年10月
- 〈内 容〉 大型耐候性作品パネル30点を展示（1300×900ミリ）
- 〈展示協力〉 京都生活協同組合
吉村建設工業株式会社

●第15号

- 〈場 所〉 京都市立北総合支援学校 中央分校整備工事現場
京都市下京区高辻通油小路東南角 元格致小学校フェンス
- 〈期 間〉 2023年2月27日～2024年3月
- 〈内 容〉 大型耐候性作品パネル25点を展示（1300×900ミリ）
- 〈展示協力〉 京都市教育委員会
株式会社藤井組
- 〈助 成〉 株式会社SCREENホールディングス



高辻通に面した青空美術館15号の展示風景

muratec



その夢は、未来に続く。

ムラテックは未来を見据えた柔軟な発想力と先進の技術力で、豊かで夢ある社会の実現をめざします。

村田機械株式会社

本 社／京都市伏見区竹田向代町136

<https://www.muratec.jp>

- 繊維機械
- ロジスティクスシステム
- ファクトリーオートメーション
- 半導体工場FAシステム
- 工作機械
- シートメタル加工機
- デジタル複合機／情報機器

TENSAI
ART
NOTE

天 オ
ア ア
ー ト
ノ ー ト



『大さきのお祭』
キャンバス・えんぴつ・
アクリル絵の具
910×1,107mm
2021年制作

大場 多知子

大場 多知子 Oba Tachiko 1977年生

大場は、日常生活の中で見つけた「面白い、美しい、印象に残った」と感じたこと、例えば植物、動物などをモチーフに画面に散りばめるように描き上げます。どの作品も緻密で写実的ですが、必ずその画中には植物に昆虫や小びとが紛れていたりと、彼女のちょっとした仕掛けだったり、いたずら心だったりが見え隠れしています。それが作品にストーリー性を醸し出し、観る者の心をくすぐります。



『朝顔II』
キャンバス・アクリル絵の具
500×600mm
2020年制作

影山 弘樹



『オウムとインコの仲間』
キャンバスボード、ペン、クレパス、
アクリル絵の具 363×515mm
2021年制作

木下 アラン 海

木下 アラン 海 Kinoshita Aran Rei

2002年生

木下は、画用紙にクレパスを用いて全身を使って描きます。時には床に大きな画用紙を広げて描くこともあります。彼が1枚の絵を描き始めると、1箱分のクレパスが無くなるまで猛烈な勢いで描き続けます。全身を用いて描き出されたものは、ところどころにクレパスの破片がこびり付き、あたかも彼自身の「生命」すらも塗り込んでいるかのような強烈な色彩とエネルギーを放ちます。

『無題』 画用紙、クレパス
390×540mm 2022年制作



『無題』 画用紙、クレパス
390×540mm 2022年制作



影山 弘樹 Kageyama Hiroki 1991年生

影山は、「オウムとインコ」「音楽の偉人」「家系図」「結婚式」「儀式を行う擬人化した鳥」など、その「関係性」をテーマに好んで描き続けています。そのモチーフはさまざまですが、どれも脈々と受け継がれる「類似性」や「命のつながり」を描いている点で共通しています。

あらゆる文化や生命の種も一代で突然生まれるわけではなく、脈々とつながれてきた「命のつながり」の中から生まれてきます。彼の絵を目の前にしたとき、私たちはそのつながりの中で生きていることを実感します。

『ヒヤシンスマコウとアオメキバタンとマーラーとブリテン』
キャンバス・アクリル絵の具
3185×410mm 2019年制作

ご家族さま
より寄稿

描くことで得られる充実した時間

知原 晶子

●マイナーチェンジの繰り返し

最近の諒汰は、こだわって装着し続けたイヤーマフを突然やめてしまいました。理由は、お風呂の時に外すのが面倒だからということらしいですが、聴覚過敏のせいのようなのです。自動車業界の言葉を借りて言えば、そうやって少しずつマイナーチェンジを繰り返して今の諒汰君になりました。

思えば、私は諒汰が幼児の頃には、朝起きたら劇的にフルモデルチェンジをした普通の諒汰になっていたのかなとよく考えたものです。私の望んだ普通というのは、幼稚園のお遊戯の輪の中に違和感なく溶け込んで、皆と同じように踊っているということです。時に運動会では「うちの子やと思うて見ていたら、全然違う子見てたわ」と屈

託なく笑えることです。

あの頃一人だけ、地面の砂に大好きな数字を書き続けていた諒汰は、その後に、天才アートKYOTOとの素晴らしい出会いがあり、私は今、感謝の気持ちでいっぱいになっています。

●数字と色とキャラクター

諒汰の興味は数字と色とその時々で変わりますが、アニメのキャラクターが好きです。あとは、お父さんが仕事で使った後の紙の裏側が好きです。お父さんが仕事で使った紙の裏側は諒汰の描く世界でいっぱい、諒汰の部屋もその紙であふれています。ノートもたくさん使いますが、お父さんの紙もやめられないようです。主人



電車の絵ばかり描いていた子ども時代

も面倒くさがりながらも、諒汰のために喜んで持つて帰ってきているように見えます。日々、飽きもしないで字や数字をちょこちょこ描いたり、気に入った絵を描いたりして、好きなことという



会報21号（2019年10月発行）の表紙を飾った作品



最近の作品：「無題」数字シリーズ

よりは、落ち着くために描いているようにも見えます。たくさん描いて、描いたものをいろいろな方に褒めてもらって、本人はきつとうれしいとは思いますが、特に描いた後のものにはこだわることもなく、淡々としています。自分で描いたものを忘れていくことも多く、大切にしているそぶりもありませんが、天才アートKYOTOで描くという時間が好きなようです。

●自分の世界をマイペースに表現

自分の好きなものや、自分の頭の中を描いているその時間が諒汰にとってはかけがえのない大切なもののように感じます。そしてその時間がいつまでも続けられるようにしていきたいです（天才アートKYOTOのアトリエから家に帰るまでの寄り道に行くレストランやラーメン屋さんの時間も含めて）。

これからの諒汰も劇的に変わることはありませんが、誰と比べることもないし、変わる必要もなくマイペースに自分の世界を

HAGURUMA



トピックス

レポート

SCREENホールディングスさまに原画レンタルの追加展示

2022年12月、株式会社SCREENホールディングスさまの本社6階フロアに当機構の作品8点を展示していただきました。これは同年8月に7階フロアに6点の作品を展示していただいたのに続くものです。同社には、すでに1階ロビーにも作品3点が展示されており、フロアごとに異なった作家の作品が並ぶ様子は、まるでギャラリーのようです。



SCREENホールディングスさま本社6階フロアでの作品展示

村田製作所さまの原画レンタルがスタート

2023年1月23日(月)から、天才アトリエKYOTOの絵画作品2点が長岡京市にある株式会社村田製作所さま本社の広いロビーに展示されました。ロビーは落ち着いたグレーに統一されていますので、作品のある一角は花が咲いたようになりました。これから1年間は、会社を訪れる人々の目と心を和ませてくれることでしょう。



村田製作所さま本社1階ロビーに展示された作品

『作品レンタル』のご案内

当機構は、2011年の活動開始以来、障碍のある人のアート創作活動の支援・推進とともに、作品の收藏に努めてきました。現在45名の登録作家がエネルギーに創作・制作をしており、今日までに収蔵点数は4600点余に達しています。多彩な作品テーマと個性が際立つ作風とが相まって、観る人に「このようなスタイルの作品は初めて観た！」と大きな感動を呼んでいます。また、特別展への出展や美術雑誌にも取り上げられるなど、その芸術性を評価する声も高まり、作品の購入や貸出が増えています。個人のお宅や会社のロビー、ホテルなどの宿泊施設に作品レンタルとして飾られ話題になっています。

レンタルなどによる収益には著作料を含み、作家に還元することで経済的自立にも資するようにしており、企業のCSR活動にも貢献します。費用は、四つ切画用紙サイズやF10号キャンバスサイズで年2.5万円からとじています。作品の選択は、『天才アトリエ』のWebサイトの「作品アーカイブ」から選んでいただくか、「きたアトリエ」で直接見ていただくこともできます。なお、作品のご購入を希望される場合もご相談させていただきます。

*作品等レンタルご採用企業様など(敬称略)：(株)SCREENホールディングス・洛和会音羽病院・京都中部総合医療センター看護専門学校・(株)村田製作所・(株)堀場製作所(予定)

天才アートKYOTOの作家の「作品原画」レンタル

(企業・法人様向け)

2022/7/1

企業・法人様へのご案内

特定非営利活動法人障害者芸術推進研究機構は2011年8月設立後、東山区の元新道小学校に制作環境の整った「新道アトリエ」を開設し、現在「きた」と「東山」にアトリエを構えて障碍のある人のアート制作活動を支援・推進してきました。今では、40名に及ぶ登録作家の豊かな才能と個性的な制作過程のもとで生まれた作品は4,000点を超えており、美術関係者からも高く評価されています。この間、展覧会のほか作品アーカイブを活用した商品制作や複製画販売などを通じてその魅力を社会に発信するとともに、収益を作家に還元しその経済的自立にも貢献してまいりました。当機構では、「日本の障碍者アートの魅力、芸術性をより広く社会に紹介するとともに、作家の経済的自立をさらに進めるために、「作品原画」のレンタル事業に取り組んでいます。

1. 作品のサイズ

原作品のサイズは、「ハッチ画用紙サイズ」～50号キャンバスサイズ」となっています。

*額装サイズ例：半切サイズ額／タテ約545mm×ヨコ424mm～50号サイズ額装／特注額サイズ1,200mm×1,400mm

2. 費用及び期間

1年で作品1点につき2.5万円より～(設置費込)です。

*半切～四つ切サイズ額装の場合：1点2.5万円～

*キャンバス作品：F30号～／1点6万円～

◎作品点数が多い場合、全体のご予算枠やその他ご希望に応じて割引等のご相談をさせていただきます。

3. 作品の選定

当機構のWebサイトの「作品アーカイブ」ページから、候補となる作品を選んでいただきます。候補の作品が決まりましたら、該当する原作品をアトリエにて事前確認もしていただけます。「癒し」「かわいい」「面白い」「季節感」などをテーマに当方にお任せいただくこともできます。その場合は現地を下見の上、ご展示のコンセプトのご希望などをお聞きしご提案いたします。

4. 作品選定から設置までの流れ

- ① 事前に現地を下見し、作品やサイズ等の相談をさせていただきます。
- ② 壁面に掲示用の金具がない場合は、事前に取付工事をお願いいたします。
- ③ 作品の掲示作業は当方で行います。作品の入替・更新作業も同様です。
- ④ ご希望により天才アート作品展示の趣旨説明等のパネル設置もいたします(制作実費有償)。
- ⑤ お支払いは作品設置後の「納品書」「請求書」により2年分まとめてお願いいたします。
- ⑥ その他ご希望がございましたら何なりとご相談させていただきます。

5. 額装について

額装の選定等は掲示場所の状況等によりご提案、打合せさせていただきます。

6. 作品の取扱い

展示場所については、直射日光のあたるところは避けてください。展示中は作品の安全・保存について日常的にご留意をお願いします。なお異常が認められた場合は、すみやかにご連絡ください。当方で確認、対処いたします。

7. お問い合わせ先

NPO法人障害者芸術推進研究機構～愛称「天才アートKYOTO」

〒603-8221 京都市北区紫野西舟岡町2 ふれあい共生館1階

(お問合わせ) E-mail: info@tensai-art.kyoto

(作品アーカイブ) http://tensai-art.kyoto/activity/archive_of_works/

利用者登録のご案内

当機構では、2011年の活動開始以来、障碍のある人や引きこもり者の芸術創作活動を支援し、翌年からはアトリエを開設して制作活動をはじめさまざまな取り組みを展開してきました。現在、「きたアトリエ」と「東山アトリエ」の2つの拠点で『アトリエ会』を開催し、多くの利用者（＝登録作家）により日々新たな作品が生み出されています。

『アトリエ会』に参加していただくためには利用者登録が必要で、事前に作品や面談による審査を行います。随時登録を受け付けていますので、ホームページからお申し込みください。登録後は、毎年度末に翌年度の作家登録説明会を実施し、登録を更



2023年度作家登録説明会の様子

会員 寄付およびボランティアさんを募集しています

ボランティアさんには、障碍のある人のアート創作活動を推進するために、作品を創る環境を整え、作品をアーカイブ（記録・保存）し、作品を商品化するアイデアを出して実現させていくこと、活動をPRしていくこと：など、サポートしていただけることはたくさんあります。アートを勉強中の学生さん、さまざまな分野で活躍されている社会人の皆さん、社会貢献に興味のある方、特技やノウハウを活かして、私たちの活動にぜひ参加してください。

詳しくはホームページをご覧ください。
<http://tensai-artkyoto>

会報広告主さま募集中！

『会報 天才アート』は、展示会の予告や報告をはじめ、さまざまな活動報告、登録作家の作品紹介やご家族からの寄稿文、関連するアート情報を掲載しています。

会報の発行部数は毎号4,000部で、会員・協賛団体、関係機関、各地の美術館などに配布・配架をしています。

当機構の活動にご賛同いただける企業さまや団体・組織の広告協賛を募集しています。ぜひともご協力をお願いいたします。

1枠（55×22mm）：1万円／（年3〜4回掲載）

●お問い合わせ・お申し込みは、
info@tensai-artkyoto まで

（編集後記）

2019年の終わりに発生した新型コロナウイルス感染症は、あつという間に世界中に拡大し、社会や経済に大きな影響を与えました。それから3年と少しが経過し、収束とはならないまでも何とか世の中も落ち着きを取り戻してきたように思います。当機構においてもアトリエ会の休止や対外発表の機会を損なうなど、いろいろな活動を制限されましたが、感染対策を万全に実施し、また皆さまのご協力のおかげで大きな問題もなく、従来と変わらない日常を取り戻しつつあります。

当機構は2011年のスタート以来、来期で13年目を迎えます。登録作家さんも45人を数え、ますます充実を図っていきたくと考えています。京都の地域に根差し、京都の企業さまや諸団体さまの支援や助成を受けながら、日本のみならず、世界に発信していける組織でありたいと願っています。そのためには皆さまのご協力とご支援が大きな力となります。

【表紙の作品について】

長村はドローイングで動植物を描きます。鉛筆やクレパス、水彩絵の具を使い、彼の手によって即興的に描き出された生き物たちは、どれもユーモラスな印象があります。彼が魚のうろこや植物の葉や鳥の羽を描く時、反復された形状を好み、リズムミカルな躍動感を生み出します。

本作「アカショウビン」は、東南アジアから中国にかけて分布するカワセミの仲間を描いたものです。赤いクチバシと体から「火の鳥」の異名を持つ鳥ですが、鳥であると同時に鮮やかな果物のようにも見えます。彼の絵は、世界のあらゆる動植物はどこかつながっているとも感じさせます。



『アカショウビン』 長村 駿 Suguru Osamura
 1991年生 画用紙・ペン・水彩絵の具
 271×381mm 2018年制作

画材・額縁
画箋堂
 京都・河原町五条

一級建築士事務所
 町家・古民家再生 / マンション改修
(株)共立ホーム
エンジニアリング
 06 (6788) 5402 kap@hyper.ocn.ne.jp

お客様に寄り添い、
 安心と安全をお届けします
 総合リスクコンサルタント
株式会社プラニ 075-353-2522

京都上鳥羽
 の
 印刷会社

MORI
(有)森田美術印刷

京都市南区上鳥羽火打形町12 ☎ 075-692-3131

妙心寺 塔頭

養徳院

永代供養のお寺 075-461-2898



吉村建設工業(株)

京都市中京区西ノ京小倉町135番地
 075-802-1360

SCREEN

一般財団法人

NISSHA財団

夢、そして誇り。この街で…
洛和会ヘルスケアシステム®

洛和会丸太町病院 洛和会音羽病院 洛和会音羽記念病院
 洛和会音羽リハビリテーション病院 洛和会東寺南病院